

第93回新生ふくしま復興推進本部会議第13回福島イノベーション・コースト構想推進本部 合同会議 議事録

- 日時：令和元年12月23日（月）9：12～9：20
- 場所：特別室（本庁舎2階）

【井出副知事】

ただ今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、議題「総合計画審議会からの意見に対する県の対応方針（案）」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料1を御覧ください。「総合計画審議会からの意見に対する県の対応方針（案）」です。総合計画の着実な推進を図るため、令和元年度の取組状況について、総合計画審議会において御審議をいただき、11月に知事に対して意見の具申がなされたところであり、本日は、審議会の意見に対する対応方針について、決定いただきたいと思いますと考えております。

本日は、主なものを2つ説明させていただきます。1つ目は、「人と地域」の1番です。「安心して子どもを産み育てられる環境の整備」の分野ですが、審議会より「妊娠・出産・子育てに柔軟に対応するための包括的で切れ目のない支援が必要」、「保育の質の向上に向けた保育施設及び保育従事者への支援の充実が必要」という御意見をいただきました。その対応といたしまして、右側にごございます「市町村と連携を図りながら各ライフステージに応じた切れ目のない支援」、さらには「保育所等の環境整備を図りながら、保育の質の向上」を進めていくこととしたいと思っております。

「安全と安心」でごございます。「医療提供体制の維持のための取組の推進」の分野では、審議会より「医療人材及び介護人材の偏在対策と人材確保・育成・定着のための取組の一層の推進が必要」という御意見をいただきました。その対応といたしまして、右側にごございます「ICT等を活用した業務効率化や医療従事者の資質向上、県内外求職者への就職支援、定着に向けた専門家派遣等を通し、人材の確保・育成」を進めていくこととしたいと思っております。

本日対応方針を御決定いただきました後は、それぞれの部局において新年度予算に反映していただき、審議会に対しては、その反映状況を報告する予定で

ございます。説明は以上です。

【井出副知事】

ただ今の説明に関して、何かありますか。なければ、本案を持って決定いたします。知事からお願いいたします。

【知事】

去る11月29日、総合計画審議会から、21項目からなる意見をいただきました。

来年度は復興・創生期間や総合計画の最終年度であるとともに、次期総合戦略の初年度として、復興・創生を更に前に進めるための重要な1年となります。審議会の意見を真摯に受け止め、職員一人一人が知恵と工夫を凝らし、全庁を挙げて、来年度の施策の構築・実施に取り組んでください。

【井出副知事】

次に、報告事項の1つ目「令和2年度政府予算案等」、報告事項の2つ目「ふくしま復興のあゆみ」について、企画調整部長。

【企画調整部長】

資料2-1を御覧ください。「政府予算案の本県関連の主な事項」です。国の令和2年度当初予算案について報告します。政府予算対策については、6月の政府要望、8月の復興再生協議会、11月の緊急要望など、知事を先頭に、国に対してあらゆる機会を捉えて丁寧に当県の現状を説明してまいりました。その結果、避難地域等の生活環境整備や、風評払拭・風化防止対策、産業・生業の再生など、本県の要望を踏まえた対応が図られました。右の欄に主な取組内容を記載しておりますが、政府予算を有効に活用し、それぞれの地域の実情に沿った柔軟な対応を図ってまいりたいと考えております。

資料2-2を御覧ください。福島イノベーション・コースト構想関連予算、令和3年度から実施される税制改正についてまとめたものです。今月決定した「福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真」に基づき、令和2年度も引き続き、国や市町村、関係機関等と連携しながら構想の更なる推進を図り、浜通り地域等の復興につなげられるようしっかりと取り組んでまいります。

続いて、「ふくしま復興のあゆみ」について報告します。「ふくしま復興の

あゆみ」は概ね四半期ごとに発行しております。主な変更点について御説明いたします。表やグラフのレイアウトを変更したほか、文章を短くして、読みやすい内容へと変更しております。また、適宜データ等の更新をしております。16ページを御覧ください。「福島イノベーション・コースト構想を基軸とした産業発展の青写真」の内容を反映しております。本構想が身近なものと思っただけできるよう、分かりやすい写真を掲載しております。18ページをお開きください。10月の台風第19号等からの復旧・復興について記載しました。

続きまして、資料3-2「新生ふくしま2020年に向けて」を御覧ください。福島ロボットテストフィールドなど新たに開所した様々な施設を追加しております。また、オリンピックホストタウンとして福島市にベトナムを追加するなど、時点修正を行っております。説明は以上です。

【井出副知事】

この件について、何かありますか。なければ、知事からお願いいたします。

【知事】

先週、閣議決定された政府予算案については、安倍総理大臣、田中復興大臣を始め各省庁にこれまでの訴えをしっかりと受け止め本県の実情を踏まえた対応をしていただきました。これは、各部局長を始め、全庁一丸となって予算確保に向け、取り組んだ結果であります。

令和2年度は、復興・創生期間の最終年度となります。これまでの挑戦を一層進化させながら、復興を更に加速させていくことが大切です。併せて、復興・創生期間後に必要な予算の確実な確保に向けて、極めて重要な年度となります。引き続き、現場主義の意識を強く持ち、台風第19号等の復旧・復興を含め、直面する様々な課題に1つ1つチャレンジを続け、各部局長がそれぞれの立場でリーダーシップを発揮してください。

【井出副知事】

以上で、合同会議を閉じます。